

科目名 (英)	就職対策講座Ⅱ (Job Search Preparation Ⅱ)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員 大野 光宣
		授業形態	講義	総時間(単位)	30時間(2)	
学科・専攻	化粧品総合学科			曜日・時間	木曜日	1時限
【授業の学習内容と心構え】						
専門学校で就職指導をしてきた教員が、内定獲得に向けて、企業が求める人材、履歴書の書き方を指導、また、社会人として求められる力、一般常識について学び、将来の自分のキャリアをイメージする。社会人として、ふさわしい言動が求められるため、遅刻欠席のないようにすること。						
【到達目標】						
社会人になるにあたり必要な一般常識、礼儀作法、考え方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を身につける。 自身の言動が客観視でき、社会人としておかしくない行動がとれる。						
【使用教科書・教材・参考書】 就職活動マニュアル、配布プリント など			【授業外における学習】 自己分析、企業研究、履歴書作成等は時間を設け、常に自分で進めておくこと。日々の生活の中で、立ち振る舞いや言葉遣いを意識すること			
回	授業概要	回	授業概要			
1	【授業単元】オリエンテーション 【授業形態】講義 【到達目標】 ・就職活動の進め方について知る(求人票) ・ルールを把握し行動できる (欠席免除願い(公欠届)、就職活動相談票、就職活動報告書、各種証明書依頼、推薦書)	9	【授業単元】就職接対策① 【授業形態】講義 【到達目標】 ・内定に向けての対策、フォローを行う。			
2	【授業単元】自己分析① 【授業形態】講義 【到達目標】 ・履歴書を通して自分はどんな人物なのかを理解する。 ・学歴(経歴)、自分の長所(PR点)、学生時代に取り組んだこと	10	【授業単元】特別講座① 【授業形態】講義 【到達目標】 ・外部講師より今後必要となる知識を学び理解する			
3	【授業単元】自己分析2 【授業形態】講義 【到達目標】 ・エゴグラムなどを通じて自分の傾向を把握する ・自分はどんな人物なのか言語化する(自己紹介)	11	【授業単元】就職接対策② 【授業形態】講義 【到達目標】 ・内定に向けての対策、フォローを行う。			
4	【授業単元】自己分析2 【授業形態】講義 【到達目標】 ・自分にはどんな長所があるか、どんなことが身についているか。(自己PR)	12	【授業単元】特別講座② 【授業形態】講義 【到達目標】 ・外部講師より今後必要となる知識を学び理解する			
5	【授業単元】業界研究 【授業形態】演習 【到達目標】 ・業界見学 現在の化粧品業界を知るとともに業界のトレンド等を知る。	13	【授業単元】就職接対策③ 【授業形態】講義 【到達目標】 ・内定に向けての対策、フォローを行う。			
6	【授業単元】企業把握 【授業形態】講義 【到達目標】 ・就職希望企業の事を知り(企業研究)、自分がなぜそこで働きたいのか。自分はその企業で何がしたいのか。自分をどう生かせるのか。を、伝える事が出来る。	14	【授業単元】就職接対策③ 【授業形態】講義 【到達目標】 ・キャリアセンターより夏休みの就職活動について (未内定者の就職活動支援)			
7	【授業単元】面接対策① 【授業形態】講義 【到達目標】 ・就職面接のポイントを理解し面接合格出来るようになる	15	【授業単元】定期試験・解説 【授業形態】講義 【到達目標】			
8	【授業単元】面接対策② 【授業形態】講義 【到達目標】 ・集団面接のポイントを理解し行動できるようになる		【評価について】 ●評価の対象 定期試験、小テスト、出欠、レポート提出 等 ●試験の方法 定期試験は筆記試験 ●評価の配分 中間評価40点満点・定期評価60点満点のうち、中間評価は出欠状況、レポート等、定期評価は筆記試験			
【特記事項】 ・毎回の授業で、求人票の確認、就職活動状況の確認を行います。						

科目名 (英)	コンピュータIV	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	株式会社ブレーンスタッフ
	(ComputerIV)						
学科・専攻	化粧品総合学科	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	15時間(1)	開講区分	後期 曜日・時間 火曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
滋慶学園グループのコンピュータ関連企業に所属しており、複数の専門学校にて学生へのPC講義や教職員へのPC研修を実施している。 ＜学習内容＞ ・訴求力の高いプレゼンテーションの作成							
【到達目標】 ・社会におけるプレゼンテーションの役割について理解する ・Word、Excelデータを活用したスライドを制作できる							
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化した、 オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				【授業外における学習】 次回講義までに不明な操作をe-learning(インターネット上のテキスト)で確認しておく			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】 AIリテラシー 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 AI(人工知能)に関する正しい情報や知識を身に着け、適正かつ有効に活用できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
2	【授業単元】 AI機械学習体験 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 機械学習について実践を通してより深めることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
3	【授業単元】 プrezentーション応用A 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 COUNTIF関数やピボットテーブルを使用したアンケート集計ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
4	【授業単元】 プrezentーション応用B 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 効果的なグラフの作成方法を理解し、活用できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
5	【授業単元】 プrezentーション応用C 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 卒業研究作成に必要な知識操作方法を習得し、活用できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
6	【授業単元】 プrezentーション応用D 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 プレゼンテーションをサポートする機能を活用できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
7	【授業単元】 プrezentーションI 試験対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 プレゼンテーション応用で習ったことを実践できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
8	【授業単元】 プrezentーションI 試験 【授業形態】 【到達目標】 定期試験 PowerPointスライド作成		【評価方法について】 評価は実技試験で行い、 授業内で説明した機能の理解、操作の定着度を確認する。 定期試験を100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。				
【特記事項】							

科目名 (英)	医薬品医療機器等法 (Pharmaceutical and Medical Device Act)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	張 春実	
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 1時限	
【授業の学習内容と構成】								
薬事業務に携わり、実務経験を得た教員が、薬事業務のスペシャリストを目指すため、医薬品医療機器等法(以下、薬機法)の目的、重要性を理解し、専門的な知識を習得し、申請書等の作成技術を習得する授業を行う。薬機法は覚える必要はないが、必要な情報が教科書のどこに記載されていたかを記憶し、その情報を探し出し実際に活用することが大切である。自分なりにインデックスを作成するもの1案である。さらにコンプライアンスの考え方方が身に付ければと思っている。								
【到達目標】								
薬機法及び関連法規を習得し、法規に違反しない化粧品とはどのようなものかを理解する。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
化粧品・医薬部外品製造販売ガイドブック2022								
回 授業概要				回	授業概要			
1	【授業単元】 薬機法の目的、歴史及び化粧品の効能範囲 【授業形態】 講義 【到達目標】 薬機法の変遷を理解し、現状の化粧品の位置を把握する。			9	【授業単元】 責任表示の解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 責任表示項目及び何のために表示義務があるのかを理解する。			
					【授業単元】 化粧品製造販売業許可申請 【授業形態】 講義 【到達目標】 許可申請の基本の流れを把握する。			
2	【授業単元】 製造業の許可申請 【授業形態】 講義 【到達目標】 申請の流れと製造業での化粧品の品質・安全性に関する取り組みの仕方を理解する。			10	【授業単元】 化粧品の輸入 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品を海外から輸入する際の届出・手続き等を理解する。			
					【授業単元】 化粧品の輸出 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品を輸出するための基本流れを理解する。 化粧品を海外へ輸出するための業務を把握する。			
3	【授業単元】 化粧品製造販売届書(FD申請) 【授業形態】 演習 【到達目標】 役所に提出する化粧品製造販売届書を作成する。			11	【授業単元】 化粧品変更届書 (FD申請) 【授業形態】 演習 【到達目標】 役所に提出する化粧品製造販売変更届書を作成手順を把握する。			
					【授業単元】 GQP・GVPの解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 製造販売業の化粧品の品質・安全性に関する取り組みの仕方を理解する。			
4	【授業単元】 広告に関する解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 広告規制の内容を把握する。 適正広告ガイドラインで、化粧品広告を理解する。			12	【授業単元】 化粧品基準 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品配合禁止・制限成分を理解し、コンプライアンスを身につける。			
					【授業単元】 薬事情報のインターネット利用方法の説明 【授業形態】 演習 【到達目標】 都府・厚生労働省の規制情報及び違反情報の収集方法を理解する。			
5	【授業単元】 定期試験・解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品配合禁止・制限成分を理解し、コンプライアンスを身につける。			13	【授業単元】 外国製造業者届 (FD申請) 【授業形態】 演習 【到達目標】 役所に提出する外国製造業者届書(輸入製造)を作成する。			
					【評価について】 小テスト(40点満点)と演習(5点)と定期試験(55点満点)を行い合計点で評価する。			
【特記事項】								

科目名 (英) 学科・専攻	化粧品分析実習 (Cosmetics Analysis Practical) 化粧品総合学科	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	関口陽子、河邊友範	
		授業形態	実習	総時間(単位)	120時間(4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 1~4限	
【授業の学習内容と心構え】								
研究、開発に携わっている講師が授業を担当する。化粧品の安全性と品質管理に関わる変量及び製品お多種配合成分の中で、医薬部外品の主成分及びポジティブリスト成分の確認、定量、その結果の評価方法を学ぶ。								
【到達目標】								
化粧品分析の目的を理解し、分析方法、測定結果の見方などをの分析技術を習得して、化粧品業界における製造、開発、品質管理、薬事法企画に役立つ基礎知識を身につける。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
教材:実習テキスト、プリント、参考書:薬機法、日本薬局方他				あらかじめテキストを読み実習の背景を予習すること。また、実習後は、実習レポートをまとめてること。				
回	授業概要	回	授業概要					
1~4	【授業単元】 薬機法と化粧品分析 【授業形態】 実習 【到達目標】 化粧品の有効性や安全性を確保するしくみと化粧品分析の必要性を理解する。器具の名称や扱い方、レポートの作成方法を知る。	57~60	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 試験の解説から、試験内容についてきちんと理解できていたかを確認する。					
5~12	【授業単元】 油脂原料の油脂試験法(酸化・ヨウ素化) 【授業形態】 実習 【到達目標】 化粧品原料の品質試験として油性原料の酸価とヨウ素価の測定の意義と測定法を理解する。							
13~20	【授業単元】 市販口紅中のタール色素の測定 【授業形態】 実習 【到達目標】 化粧品に配合できる色素について理解し、薄層クロマトグラフにより標準色素を分離する。							
21~28	【授業単元】 市販口紅中のタール色素の測定2 【授業形態】 実習 【到達目標】 市販口紅からタール色素を抽出する。各操作の意味を考える。							
29~36	【授業単元】 市販口紅中のタール色素の測定3 【授業形態】 実習 【到達目標】 抽出したタール色素を、薄層クロマトグラフにより同定する。							
37~40	【授業単元】 中間試験・解答解説、吸光光度測定 【授業形態】 実習 【到達目標】 中間試験後の試験の解説から、試験内容についてきちんと理解できていたかを確認する。 ポジティブリスト成分と吸光光度法について理解する。							
41~48	【授業単元】 液体クロマトグラフ法を用いた防腐剤の測定 【授業形態】 実習 【到達目標】 HPLC法について原理を理解し、機器の使用法を習い、防腐剤パラベン4種の分離条件を確立するとともに、市販品化粧水及び乳液中のパラベンの定量をおこなう。							
49~56	【授業単元】 液体クロマトグラフ法を用いた紫外線吸収剤の測定 【授業形態】 実習 【到達目標】 HPLC法について原理を理解し、機器の使用法を習い、紫外線吸収剤の分離条件を確立するとともに、市販日焼け止め中の紫外線吸収剤の定量をおこなう。	【評価について】 各実験レポート:5点満点(全部で30点) 中間試験:30点 定期試験:40点						
【特記事項】 自宅学習についての課題は前週に指示								

科目名 (英)	化粧品研究開発製造実習 I (Thesis Project I)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	高林久美子 永井昌義 伊藤邦宏	
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	120時間 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 金曜日1~4限	
【授業の学習内容と心構え】								
化粧品業界において研究開発経験を有し、専門学校において化学・化粧品分野の教員経験が長年ある教員達が、自ら計画をたてたテーマで研究をおこなう学生たちの手助けをする。この授業の主体者は学生であり、教員はあくまでも手助けである。ただし、研究を行うにあたり、設備上、安全上の制約があることを理解すること。								
【到達目標】								
業界に必要とされる、自立した専門職業人となるため問題発見、調査、解決能力を身に付ける。								
目標を設定し、それを達成するための計画を立てることができる。								
自分たちの研究を他の人にわかるように発表するスキルを身に付ける。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
参考書、文献は自分たちで探すこと				自分たちの研究に必要な情報を常に収集する				
回	授業概要	回	授業概要					
1~4	【授業単元】プレゼンテーション 【授業形態】実習 【到達目標】 ・自分でやりたいテーマをみんなの前で発表する ・他の人の発表を聞き、理解する ・みんなの発表の中からやりたいテーマを探す	33~36	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する					
	【授業単元】テーマ決め 【授業形態】実習 【到達目標】 ・やりたいテーマを話し合い、班を決める ・テーマを深く掘り下げる ・大まかな計画を立てる・GW中の課題を決める		37~40	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する				
	【授業単元】計画と研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・今後の研究の進め方を決める ・必要であれば予備実験をする		41~44	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する				
	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する		45~48	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する				
17~20	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する	49~52	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する					
	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する		53~56	【授業単元】発表準備 【授業形態】実習 【到達目標】 ・中間発表に向けた準備をする ・想定される質問に対する回答を用意する				
21~24	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する	57~60	【授業単元】中間発表 【授業形態】実習 【到達目標】 ・自分たちの研究内容を1年生の前で発表する ・前期の時点での研究の振り返りをする。 ・夏休み、後期の計画を立てる					
	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する			【評価について】 評価において筆記試験は行わない。 中間試験(40点)：出席状況及び態度により評価する 定期試験(60点)：卒研評価シートにより、評価する 評価は学則規定に準ずる				
【特記事項】								

科目名 (英)	化粧品研究開発製造実習Ⅱ (Thesis Project Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	高林久美子 永井昌義 伊藤邦宏	
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	240時間 (8)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日・金曜日1~4限	
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 化粧品業界において研究開発経験を有し、専門学校において化学・化粧品分野の教員経験が長年ある教員達が、自ら計画をたてたテーマで研究をおこなう学生たちの手助けをする。この授業の主体者は学生であり、教員はあくまでも手助けである。ただし、研究を行うにあたり、設備上、安全上の制約があることを理解すること。								
【到達目標】 業界に必要とされる、自立した専門職業人となるため問題発見、調査、解決能力を身に付ける。 目標を設定し、それを達成するための計画を立てることができる。 自分たちの研究を他の人にわかるように発表するスキルを身に付ける。								
【使用教科書・教材・参考書】 参考書、文献は自分たちで探すこと				【授業外における学習】 自分たちの研究に必要な情報を常に収集する				
回	授業概要	回	授業概要					
1-8	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する	65-72	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する					
9-16	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する	73-80	【授業単元】研究・発表準備 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・学科発表会に向けてパワーポイントを準備する					
17-24	【授業単元】計画と研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・今後の研究の進め方を決める ・必要であれば予備実験をする	81-88	【授業単元】発表準備 【授業形態】実習 【到達目標】 ・発表練習をする ・想定される質問に対する回答を用意する					
25-32	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する	89-96	【授業単元】学科発表会 【授業形態】実習 【到達目標】 ・自分たちの研究をみんなの前で発表する ・出された質問に誠意を持って答える ・発表会の振り返りをする					
33-40	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する	97-104	【授業単元】論文・ポスター原稿作成 【授業形態】実習 【到達目標】 ・自分たちの研究を論文にまとめる ・自分たちの研究をパワーポイント8枚にまとめる					
41-48	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する	105-112	【授業単元】ポスター原稿提出 【授業形態】実習 【到達目標】 ・自分たちの研究をパワーポイント8枚にまとめる ・想定される質問に対する回答を用意する ・展示物の準備をする					
49-56	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する	113-120	【授業単元】論文提出 【授業形態】実習 【到達目標】 ・自分たちの研究を論文にまとめる ・一年間の研究の振り返りをする。 ・研究でつかった試薬、原料、器具、資料等を片付ける					
57-64	【授業単元】研究 【授業形態】実習 【到達目標】 ・計画に沿って研究を進める ・問題があれば計画を修正する		【評価について】 評価において筆記試験は行わない。 中間試験分(40点)：出席状況及び態度により評価する 定期試験(60点)：卒研評価シートにより、評価する					
【特記事項】								

科目名 (英) 学科・コース	企業連携商品開発演習 (Cosmetic Product Development Practice) 化粧品総合学科	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	高林久美子・永井昌義・伊藤邦宏
		授業形態	演習	総時間(単位)	60時間(4)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 3. 4限
【授業の学習内容と心構え】							
化粧品業界において研究開発経験を有し、大学・専門学校において化学・化粧品分野の教員経験が10年以上ある教員がある講師達が、化粧品を企画・開発するための基本となる知識、技術を習得するための授業を行う。また、化粧品原料メーカーの方々の原料紹介も取り入れる。なお、この科目は化粧品研究開発製造実習Ⅰ(卒業研究)と連動して行う。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品を企画・開発するために必要な知識を身に付ける ・自分たちの研究を計画し、実施し、発表するためのスキルを身に付ける 							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
適宜プリントを配布する				この授業で学んだことを卒業研究で実践して欲しい。			
回 授業概要				回 授業概要			
<p>【授業単元】業界を知る/実験ノートの書き方 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>1・2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化粧品業界についてのDVDをみて業界の概要がわかる ・DVDをみた感想が書ける ・実験ノートの書き方を実践できる 				<p>【授業単元】原料メーカーによる原料紹介③株式会社高研様 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>17・18</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界の人の話を聞くにふさわしい態度がとれる ・説明された原料の特性がわかる ・説明された原料を卒業研究で使うことが出来る 			
<p>【授業単元】テクニカルライティング 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>3・4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理系の文章の特徴がわかる ・理系の文章の書き方がわかる ・理系の文章の書き方を実践できる 				<p>【授業単元】原料メーカーによる原料紹介④ 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>19・20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界の人の話を聞くにふさわしい態度がとれる ・説明された原料の特性がわかる ・説明された原料を卒業研究で使うことが出来る 			
<p>【授業単元】論文とは 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>5・6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文の構成がわかる ・自分たちに参考文献を探すことが出来る ・実際に論文を読んで内容を理解する 				<p>【授業単元】原料メーカーによる原料紹介⑤ 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>21・22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界の人の話を聞くにふさわしい態度がとれる ・説明された原料の特性がわかる ・説明された原料を卒業研究で使うことが出来る 			
<p>【授業単元】特許とは 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>7・8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許とは何かわかる ・ほしい特許の検索ができる ・卒業研究において先行特許の利用法がわかる 				<p>【授業単元】中間発表用要旨作成 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>23・24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここまでの中間研究をまとめる ・規定に沿った要旨を完成させる ・卒業研究において統計処理ができる 			
<p>【授業単元】原料メーカーによる原料紹介① 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>9・10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界の人の話を聞くにふさわしい態度がとれる ・説明された原料の特性がわかる ・説明された原料を卒業研究で使うことが出来る 				<p>【授業単元】原料メーカーによる原料紹介⑥日本精化様 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>25・26</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界の人の話を聞くにふさわしい態度がとれる ・説明された原料の特性がわかる ・説明された原料を卒業研究で使うことが出来る 			
<p>【授業単元】アンケートの作り方 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>11・12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの取り方で研究が左右されることがわかる ・アンケート作りの注意点がわかる ・卒業研究において必要なアンケートが取れる 				<p>【授業単元】発表用PowerPointの作成① 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>27・28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表用PowerPointの作成についての基本を理解する ・要旨に沿って発表のあらすじを作る ・あらすじに沿ってPowerPointを作成する 			
<p>【授業単元】原料メーカーによる原料紹介② 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>13・14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界の人の話を聞くにふさわしい態度がとれる ・説明された原料の特性がわかる ・説明された原料を卒業研究で使うことが出来る 				<p>【授業単元】発表用PowerPointの作成② 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>29・30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表原稿を作る ・発表練習をしてPowerPointを修正する ・質問対策をする 			
<p>【授業単元】統計処理 【授業形態】演習・実習 【到達目標】</p> <p>15・16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計処理の用語がわかる ・エクセルで統計処理の作業ができる ・説明された原料を卒業研究で使うことが出来る 				<p>【評価について】</p> <p>評価に関しては出席状況、授業態度と小テストおよび卒業研究中間発表要旨・PowerPointによって評価する。</p> <p>内訳</p> <p>出席状況:出席状況、授業態度 40点満点(中間試験に相当)</p> <p>小テスト:1, 2, 3, 4, 6, 8, 11回 計40点</p> <p>卒研要旨 10点 PPT 10点 小テストと合計60点(定期試験に相当)</p> <p>評価は学則規定に準ずる</p>			
【特記事項】							
原料メーカー様のご都合により実施回が変更になる場合がある							

科目名 (英)	アロマテラピー検定対策講座 (Preparation of Aroma Certificate)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	栗原 冬子			
		授業形態	講義・演習	総時間(単位)	45時間(3)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 2時限			
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 国際線全日空客室乗務員として在職中に海外で香りの世界に出会う。退社後にアロマテラピーやハーブなどの植物療法を基礎から学び、美容や健康を推進する会社を設立し、アロマテラピー検定を実施する(公社)日本アロマ環境協会で8年間理事事を務めた。この授業では安心で安全なアロマテラピーの使用方法や植物の力を五感を使って学んでいく。心身ケアに役立つ身近な知識なので楽しみながら授業に臨んで欲しい。										
【到達目標】 アロマテラピー検定1級合格										
【使用教科書・教材・参考書】 アロマテラピー検定テキスト/ 副読本/検定精油セット				【授業外における学習】 各自精油の嗅ぎ分け練習						
回	授業概要			回	授業概要					
1	【授業単元】 アロマテラピーとは 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 アロマテラピーとはどのようなものかを理解し、説明できる。			9	【授業単元】 アロマテラピーのメカニズム(1) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 精油が心身に働きかける芳香成分と特徴と仕組みについて理解する。					
2	【授業単元】 精油(エッセンシャルオイル)について(1) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 精油の性質や作用について説明ができる			10	【授業単元】 アロマテラピーのメカニズム(2) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 精油が心身に働きかける芳香成分と特徴と仕組みについて理解する。					
3	【授業単元】 精油(エッセンシャルオイル)について(2) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 精油の抽出法/選び方を理解する			11	【授業単元】 アロマテラピーの歴史(1) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 世界のアロマテラピーの歴史と関連する人物を理解する。					
4	【授業単元】 精油と環境問題/ 安全性について 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 精油に関連する環境問題を理解する。 精油の安全性を説明できる。			12	【授業単元】 アロマテラピーの歴史(2) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 世界のアロマテラピーの歴史と関連する歴史上の人物を理解する。					
5	【授業単元】 アロマテラピーで使う素材について 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 精油を希釈したり混ぜるための素材の知識を深める。			13	【授業単元】 美容と健康に役立つアロマテラピー ^① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 美容と健康に有効的なアロマテラピーを症状別に説明できる。					
6	【授業単元】 アロマテラピーの利用法について 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 精油を使った安心安全な楽しみ方を説明できる。			14	【授業単元】 前期復習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 前期のすべての知識を確認をし、理解できる。					
7	【授業単元】 第6回までの復習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 6回の講義の理解度を自身でチェックし、理解度を高める。			15	【授業単元】 定期試験と解答解説 【授業形態】 【到達目標】 前期定期試験を通じて理解度を確認する。					
8	【授業単元】 中間試験、解説解説 【授業形態】 【到達目標】 第7回までのアロマテラピーの基礎知識が定着できている。			【評価方法について】 【評価の対象】 中間試験、定期試験(小テスト提出、出欠状況を含む) 【試験の方法】 Teamsによる回答 【評価の配分】 中間試験(40点)定期試験(60点)の100点満点で評価する。小テスト提出回数分の点数で補点可。						
【特記事項】 ・各回授業内で小テスト実施。 ・精油セットで香りを嗅ぐ習慣を身につけましょう。										

科目名 (英)	化粧品成分検定講座 (Cosmetic Ingredient License Preparation)	必修選択	選択	年次	2年	担当教員	伊藤 明紀
学科・コース	化粧品総合学科	授業形態	演習	総時間(単位)	15時間(1)	開講区分曜日・時間	後期 火曜日 3時限
【授業の学習内容と心構え】							
化粧品メーカーで商品開発・薬事を担当し、長年教鞭をとってきた教員が、化粧品成分の意味を読み解く力を養い、目的に合った正しい化粧品が選択できる専門的な知識と技能を習得する授業を行う。化粧品成分に関する正しい知識を有し、消費者に適した化粧品を提供・提案できるできる化粧品スペシャリストを目指すとともに、自ら学んだ知識や能力を確認するために、化粧品成分検定1級合格に向けた試験対策講義も行う。資格取得を目的とするだけでなく、目指す職種のやりがいについても考えながら受講してほしい。演習がメインとなるため、しっかり予習・復習をして授業に臨んでほしい。							
化粧品に配合される各種成分の特性・作用について説明できるようになる。 化粧品成分検定2級の対象範囲である各種成分の基本的な特性および用途について説明できるようになる。 化粧品成分検定1級の対象範囲である各種製品の全成分表示例について、公式問題集の演習を通じて検定試験1級合格を目指す。							
【使用教科書・教材・参考書】 化粧品成分検定公式テキスト 化粧品成分検定1級公式問題集				【授業外における学習】 身近な化粧品を手に取り、表示をチェックして配合されている成分がどのような目的で使用されているかを確認するなどして、授業で学んだ知識を深める機会を作ってほしい。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】化粧品成分表示 【授業形態】演習 【到達目標】 化粧品成分検定の目的を理解する 化粧品表示のルールについて説明できる 水性成分の特性・作用を説明できる 検定試験問題が解けるようになる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
2	【授業単元】油性成分 【授業形態】演習 【到達目標】 油性成分の特性・作用を説明できる 検定試験問題が解けるようになる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
3	【授業単元】界面活性剤 【授業形態】演習 【到達目標】 界面活性剤の特性・作用を説明できる 検定試験問題が解けるようになる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
4	【授業単元】機能性成分・安定化成分・その他成分 【授業形態】演習 【到達目標】 機能性成分の特性・作用を説明できる 安定化成分の特性・作用を説明できる その他成分の特性・作用を説明できる 検定試験問題が解けるようになる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
5	【授業単元】化粧品成分検定試験対策① 【授業形態】演習 【到達目標】 化粧品表示のルールを確認する 各種化粧品成分の特性・作用を確認する 検定試験問題が解けるようになる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
6	【授業単元】化粧品成分検定試験対策② 【授業形態】演習 【到達目標】 化粧品全成分表示を読み解く:1級試験問題演習と解説① 検定試験問題が解けるようになる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
7	【授業単元】化粧品成分検定試験対策③ 【授業形態】演習 【到達目標】 化粧品全成分表示を読み解く:1級試験問題演習と解説② 検定試験問題が解けるようになる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
8	【授業単元】定期試験 【授業形態】 【到達目標】 各单元で学習した内容の重要なポイントを押さえ、わからない問題を明確にしたうえで、知識の定着を図る。 化粧品の表示、各種成分の特性・作用、全成分表示の理解度を確認する。		評価は、筆記試験で行う。授業内で確認した専門的な知識の理解、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。				
【特記事項】 あらかじめ指定した検定問題集の設問は、必ず予習してくること。							